

Course number		U-LAS06 10002 LJ41					
Course title (and course title in English)		法学 Jurisprudence		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Global Environmental Studies Professor,USAMI MAKOTO	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Fri.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>私たちの生活は、法に支えられて成り立っている。法の全体像を深く正しく理解するためには、法体系のモデルを学習することが重要である。本科目では、近代から今日までに発展してきた多様な法体系のモデルについて、平易に概説する。</p> <p>本科目では、履修者数が極めて多数とまらない限り、質疑・討論の時間をやや長めに確保する。履修者数が極めて多数に上る場合には、質疑・討論の時間を設けない。</p>							
[Course objectives]							
多様な法体系のモデルを習得し、関連する諸論点について自ら考察を深めることにより、法の全体像に対する正確かつ複眼的な視座を得ることが、本科目の目的である。							
[Course schedule and contents]							
次の主題について授業を行う。							
1. 序論：法体系のモデル【1回】 2. 命令としての法【2～3回】 3. 規範としての法【2～3回】 4. ルールとしての法【2～3回】 5. 道徳としての法【1～2回】 6. 原理としての法【3～4回】							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
履修者数が極めて多数とはならない場合 質疑・討論における各履修者の発言を、質・量の両面から厳密に評価して記録し、授業参加点を算出する。出席による加点はないが、欠席・遅刻は減点対象となる。							
授業参加点（50％）と授業期間中に実施する2回の小テスト（25％×2）の点数とを合計して、最終成績を確定する。							
履修者数が極めて多数に上る場合 <u>授業期間中に実施する中間試験（50％）と期末試験（50％）の点数を合計して、最終成績を確定する</u>							
Continue to 法学(2)							

## 法学(2)

る。

### [Textbooks]

瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕 『法哲学』（有斐閣）ISBN:9784641125674

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

履修者数が極めて多数とはならない場合  
履修者は、十分な予習に基づく積極的な発言を期待される。

履修者数が極めて多数に上る場合  
履修者は、十分な予習を行うことを期待される。

### [Other information (office hours, etc.)]

質疑・討論の時間が設けられる場合には、教室で自由に発言する楽しさを味わってほしい。

第1回授業で、出席者数を勘案して授業方法を確定し、その詳細な説明を行うので、履修希望者は必ず出席すること。

### [Essential courses]